

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	界地区 (越名町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・旧越名沼の水田は、数名で担っている。高齢化も進んでいる。
- ・近年は、河川改修で冠水被害は減少しているものの、旧越名沼の水田は水害に遭いやすい。・担い手の高齢化が進んでいる。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。水路の老朽化で漏水、越水が増えてきている。
- ・鳥獣被害（イノシシ）が増え始めている。
- ・農地の集約が進んでいない。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数14】 賛成：64.3%、反対：14.3%、どちらでもない：21.4%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	118 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	118 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を7人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	界地区 (高山町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・農地は小区画で道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・鳥獣被害(イノシシ)が増え始めている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・集約より個人での営農をみとめ、なるべく町内で農地を守りたい。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数12】 賛成：41.7%、反対：25.0%、どちらでもない：33.3%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	76 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	76 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
20代は収益性の高いものを行っているが、将来的には複合経営を考えてもらう。40代もいる。集約より個人での営農をみとめ、なるべく町内で農地を守りたい。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
ある程度の大きさがある地域では畦畔除去などで区画を大きくし、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
集約より個人での営農をみとめ、なるべく町内で農地を守りたい。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	界地区 (馬門町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。 ・農地は小区画で道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・農道を整備した方がよい場所がある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・集約より個人での営農をみとめ、なるべく町内で農地を守りたい。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数10】 賛成：20.0%、反対：40.0%、どちらでもない：40.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	112 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	112 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
20代は収益性の高いものを行っているが、将来的には複合経営を考えてもらう。40代もいる。集約より個人での営農をみとめ、なるべく町内で農地を守りたい。小規模農家も含めて集約化を推進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
ある程度の大きさがある地域では畦畔除去などで区画を大きくし、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
集約より個人での営農をみとめ、なるべく町内で農地を守りたい。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	葛生地区 (柿平、水木、秋山)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数3】 賛成：100%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	135 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	135 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	葛生地区 (上仙波、中仙波)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・集落営農組織の体質強化。
- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数3】 賛成:66.7%、反対:0%、どちらでもない33.3%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	79 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	79 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
集落営農組織の体質強化。地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
集落営農組織の体質強化。地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	葛生地区 (築地、長坂、会沢第1、会沢第2、会沢第3)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地が一部樹林竹林化しており、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林が多く、鳥獣被害（イノシシ、鹿）が多い。ヤマビルの被害もある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。（特に畑作地については他地区の担い手の利用促進）
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数2】 賛成：0%、反対：50.0%、どちらでもない：50.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	53 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	53 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
水路整備
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	葛生地区 (鉢木、あくと、豊代)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林が多く、鳥獣被害（鹿、イノシシ）が多い。ヤマビルの被害もある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成：50.0%、反対：0%、どちらでもない50.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	93 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	93 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	葛生地区 (富士見、中の上、中の中、中の下)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成・75.0% 反対・0% どちらでもない25.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	63 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	63 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	葛生地区 (上牧、下牧)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビル被害もある。・後継者不足・水路の整備が遅れている

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数5】 賛成:40.0%、反対20.0%、どちらでもない40.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	103 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	103 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
土側溝をU字溝への設置替えをする
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農業支援サービスの拡充

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	旗川地区 (小中町(東)、小中町(西))
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・土地改良施設の老朽化と修繕。
- ・圃場ごとの収量条件の差による耕作放棄地の増加 ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・小作料統一単価がない ・他産業と比べ収入が低いための従事者不足 ・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・いちごなど施設野菜、かき菜など露地野菜の生産拡大を推進。
- ・新規就農者の入りやすい地域にしていく。・専業農家の後継者(100%)を目指す。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数3】 賛成:33.3% 反対:0% どちらでもない66.7%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	103 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	103 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。新規就農者の入りやすい地域にしていく。専業農家の後継者(100%)を目指す。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地バンクを活用し、農地の集積・集約化を図る。特に同一水路沿いに集約化を進めることで担い手の作業効率の向上を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
多面的機能支払交付金を活用し、地域住民も含めた水路の堀さらいをはじめとする農村環境保全活動を展開する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	旗川地区 (並木町(堀之内)、並木町(大門)、並木町(田中)、並木町(花岡)、並木町(小野, 茂木)、並木町(中妻))
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・耕作放棄地が増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・いちごなど施設野菜、ねぎ、かき菜など露地野菜の生産拡大を推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成:50.0%、反対:0%、どちらでもない50.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	124 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	124 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	旗川地区 (免鳥町(新田)、免鳥町、免鳥町(市街道))
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・耕作放棄地が増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・水路の老朽化による破損や水漏れ、水不足。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。

いちごなど施設野菜、かき菜など露地野菜の生産拡大を推進

- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数7】 賛成:71.4% 反対14.3% どちらでもない14.3%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	60 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	60 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を2人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	犬伏地区 (関川町、葦川町、上富士、下富士、大栗町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・農地は小区画で道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林に隣接しており、近年鳥獣被害が増えてきている。
- ・道路沿いではゴミの不法投棄が多い。・作物に適した土壌ではない(粘土質)。
- ・水管の劣化により浄化槽の水が垂れ流されている。・イノシシ、鹿の獣害被害。
- ・水路が劣化してきている。ため池の貯水量が減少してきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・中間貯水池の設置。
- ・作物の転作、草刈りの外部委託
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数9】 賛成：22.2%、反対0%、どちらでもない77.8%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	123 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	123 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を2人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

<p>【選択した上記の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットを活用した人員募集</li> <li>・ U字溝の設置</li> </ul>
---

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	犬伏地区 (西浦町、鏡塚町、黒袴町、伊勢山町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・農地は小区画で道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林に隣接しており、近年鳥獣被害（イノシシ）が増えてきている。・道路沿いでは、ゴミの不法投棄が多い。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数8】 賛成：37.5%、反対：12.5%、どちらでもない50.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	90 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	90 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
3～5反の自己負担のない基盤整備
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を5人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	吾妻地区 (下羽田町、高橋町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第4回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・桃梨の収穫時期には、毎年盗難被害がおきている。
- ・クビアカの被害が増えており、再起に数年を要するため、高齢者は再起する意向に向かない。
- ・耕作放棄地となっている農地がある。・鳥獣被害が増えてきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
- ・いちごなど施設野菜やかき菜など露地野菜、桃梨など果樹の生産拡大を推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数22】 賛成：72.7%、反対9.1%、どちらでもない18.2%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	207 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	181 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <p>地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <p>営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>将来的に団地化したいが、果樹の移動に不安がある。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。いちごなど施設野菜やかき菜など露地野菜、桃梨など果樹の生産拡大を推進。 新たな担い手を3人加える。【R8.3.23追記】</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

<p>【選択した上記の取組方針】</p>
----------------------

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	吾妻地区 (上羽田町)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第4回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・桃梨の収穫時期には、毎年盗難被害がおきている。
- ・クビアカの被害が広がっている。・火傷病の被害が広がっている。鳥獣被害が増えてきている。
- ・耕作放棄地となっている農地がある

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
- ・いちごなど施設野菜やかき菜など露地野菜、桃梨など果樹の生産拡大を推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数14】 賛成：85.8%、反対7.1%、どちらでもない7.1%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	109 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	109 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
苗間、小さい圃場を一枚化する整備を実施する
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。いちごなど施設野菜やかき菜など露地野菜、桃梨など果樹の生産拡大を推進。 新たな担い手を2人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	吾妻地区 (村上町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・桃梨の収穫時期には、毎年盗難被害がおきている。・鳥獣被害が増えてきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
- ・いちごなど施設野菜やかき菜など露地野菜、桃梨など果樹の生産拡大を推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数12】 賛成：58.3%、反対16.7%、どちらでもない25.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	95 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	95 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
営農集団など担い手への農地の集積・集約化を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
東西の農道の拡幅をする。排水路を深くする。村上、高橋で再圃場整備を目指す。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。いちごなど施設野菜やかき菜など露地野菜、桃梨など果樹の生産拡大を推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	佐野地区 (大橋町(西部南)、大橋町(西部北)、大橋町(東部)、大橋町(市街部))	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者の大幅な減少 ・中心経営体の高齢化による将来的な担い手不足 ・後継者不足</li> <li>・高収益作物の導入が必要 ・地域コミュニティが低調</li> <li>・工業地域と市街化調整区域の境を中心に、耕作放棄地が増加かつ連担化したことでゴミの不法投棄が多い。</li> <li>・農地は小区画で道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。 ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。</li> </ul>
---

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サラリーマンを退職した人や女性などの労働力を活用する</li> <li>・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果 (【回答数9】 賛成:77.8%、反対:0%、どちらでもない22.2%)</li> </ul>
---

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	58 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	58 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

<p>農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。</p>
---

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
出し手の協力の下、連担化した耕作放棄地を解消し、地域の担い手に農地の集積・集約化を推進する
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理事業を活用し、中心経営体への集積、集約を図るほか、他地域を含めた、認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
サラリーマンを退職した人や女性などの労働力を活用する 新たな担い手を3人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	植野地区 (伊保内町)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・米麦は単収が低く魅力がないため、イチゴなどの高収益作物に若い人は流れやすい。
- ・水田について単収を上げるために裏作で麦を作るにも、水の関係で出来ない地区もある。
- ・政策レベルで米麦の魅力を引き上げないと設備投資の増大からも持続は難しい。
- ・地元ヘリターンしてくる人で農業関係に期待できる人は少ない。
- ・圃場が小さく分散しているため、大型機械を持っていると受けるのが難しい。
- ・非農家の意識が低く、例えば再圃場整備などを行うのが難しい。・鳥獣被害(イノシシ)が増えてきている。
- ・夫婦でやっていない家は上の世代がリタイアした場合、営農を継続するのは難しい。
- ・農家の寄り合いなども減っており、情報交換が出来ない。・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・サラリーマンを退職した人の中から担い手を育成していく。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数11】 賛成：72.7%、反対：18.2%、どちらでもない9.1%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	60 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	60 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
土地利用型経営体に限らず、いちごなど複合経営体も地域の担い手として農地の集積・集約化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
早い時期に土地改良をした区画の小さな圃場については再圃場整備を行っていく。ある程度の大きさがある地域では畦畔除去などで区画を大きくし、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
サラリーマンを退職した人や女性などの労働力を活用する 新たな担い手を4人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

スマート農業技術を活用したいちごハウスを整備し団地化することで、新規就農者の確保を目指すとともに産地の振興を図る。【R8.3.23追記】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	植野地区 (君田町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・ 中心経営体の高齢化による担い手不足
- ・ 高収益作物の導入・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・ 水路の老朽化・病害虫や鳥獣被害が増えてきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・ 農地利用は、農地中間管理事業を活用し、中心経営体へ集積、集約を図るほか、他地域を含めた、認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
- ・ 別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数9】 賛成: 44.4%、反対: 11.2%、どちらでもない44.4%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	50 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	50 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
出し手の協力の下、耕作放棄地を解消し、地域の担い手に農地の集積・集約化を推進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地利用は、農地中間管理事業を活用し、中心経営体へ集積、集約を図るほか、他地域を含めた、認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する田島地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を5人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	植野地区 (植下町、植下町(第3)、植下町(第4)・飯田町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・米麦は単収が低く魅力がないため、イチゴなどの高収益作物に若い人は流れやすい。
- ・水田について単収を上げるために裏作で麦を作るにも、水の関係で出来ない地区もある。
- ・政策レベルで米麦の魅力を引き上げないと設備投資の増大からも持続は難しい。
- ・地元ヘリターンしてくる人で農業関係に期待できる人は少ない。
- ・圃場が小さく分散しているため、大型機械を持っていると受けるのが難しい。
- ・非農家の意識が低く、例えば再圃場整備などを行うのが難しい。
- ・夫婦でやっていない家は上の世代がリタイアした場合、営農を継続するのは難しい。
- ・農家の寄り合いなども減っており、情報交換が出来ない。・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・鳥獣被害が増えてきている。・集約が進んでいない。・未整備な農道に危険な場所がある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・サラリーマンを退職した人の中から担い手を育成していく。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数19】 賛成: 57.9%、反対: 10.5%、どちらでもない: 31.6%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	197 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	197 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
土地利用型経営体に限らず、いちごなど複合経営体も地域の担い手として農地の集積・集約化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
早い時期に土地改良をした区画の小さな圃場については再圃場整備を行っていく。ある程度の大きさがある地域では畦畔除去などで区画を大きくし、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
サラリーマンを退職した人や女性などの労働力を活用する 新たな担い手を6人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	植野地区 (船津川(船下)、船津川(12所)、船津川(船中)、船津川(船上))	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)	

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・米麦は単収が低く魅力がないため、イチゴなどの高収益作物に若い人は流れやすい。
- ・水田について単収を上げるために裏作で麦を作るにも、水の関係で出来ない地区もある。
- ・政策レベルで米麦の魅力を引き上げないと設備投資の増大からも持続は難しい。
- ・地元ヘリターンしてくる人で農業関係に期待できる人は少ない。
- ・圃場が小さく分散しているため、大型機械を持っていると受けるのが難しい。
- ・非農家の意識が低く、例えば再圃場整備などを行うのが難しい。
- ・夫婦でやっていない家は上の世代がリタイアした場合、営農を継続するのは難しい。・鳥獣被害が増えてきている。
- ・農家の寄り合いなども減っており、情報交換が出来ない。・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いはゴミの投棄が多い。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・多面的補助事業を活用して、非農家も含めて地域の人達と共同作業を行うことにより、作業後、話し合いの場としても活用し、地域の人で地域の農業を守っていく。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数14】 賛成:71.4%、反対:14.3%、どちらでもない:14.3%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	146 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	146 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地域での法人化した組織を考えていき、スポットでオペレータを確保して行く。 年1回以上地域の農地利用について話し合う場を設け、他の地区の担い手や地主を含めた検討を行っていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
ある程度の大きさがある地域では畦畔除去などで区画を大きくし、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
定年退職した人に担ってもらう。農業体験などを通して、農業への理解促進と共に将来的には、地域農業を支える担い手を確保する。 新たな担い手を7人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	植野地区 (大古屋町・庚申塚町)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第4回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・米麦は単収が低く魅力がないため、イチゴなどの高収益作物に若い人は流れやすい。</li> <li>・水田について単収を上げるために裏作で麦を作るにも、水の関係で出来ない地区もある。</li> <li>・政策レベルで米麦の魅力を引き上げないと設備投資の増大からも持続は難しい。</li> <li>・地元ヘリターンしてくる人で農業関係に期待できる人は少ない。</li> <li>・圃場が小さく分散しているため、大型機械を持っていると受けるのが難しい。</li> <li>・非農家の意識が低く、例えば再圃場整備などを行うのが難しい。</li> <li>・夫婦でやっていない家は上の世代がリタイアした場合、営農を継続するのは難しい。</li> <li>・農家の寄り合いなども減っており、情報交換が出来ない。・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。</li> <li>・病害虫や鳥獣被害が増えてきている。・水路や農道の整備が必要。</li> </ul>
--

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サラリーマンを退職した人の中から担い手を育成していく。・非農家も含めて地域の人達と共同作業を行うことにより、作業後、話し合いの場としても活用し、地域の人で地域の農業を守っていく。</li> <li>・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果 (【回答数20】 賛成：75.0%、反対：15.0%、どちらでもない：10.0%)</li> </ul>
---

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	142 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	142 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 年1回以上地域の農地利用について話し合う場を設け、他の地区の担い手や地主を含めた検討を行っていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
早い時期に土地改良をした区画の小さな圃場については再圃場整備を行っていく。ある程度の大きさがある地域では畦畔除去などで区画を大きくし、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
サラリーマンを退職した人の中から担い手を育成する。 機械の共同利用についても検討していく 新たな担い手を9人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
受け手のいない圃場については、受託組織も活用していく

以下任意記載事項（地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	植野地区 (田島町)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第4回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・中心経営体の高齢化による担い手不足
- ・高収益作物の導入・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・50号北側のエリアは大型機械が入らない。小さい農地の集約が進まない。
- ・病害虫や鳥獣被害が増えてきている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・農地利用は、農地中間管理事業を活用し、中心経営体へ集積、集約を図るほか、他地域を含めた、認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
- ・水系ごとに農地集積、集約案を作成し分配していく。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数10】 賛成：40.0%、反対：20.0%、どちらでもない：40.0%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	67 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	67 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
出し手の協力の下、耕作放棄地を解消し、地域の担い手に農地の集積・集約化を推進する。 既存の協議会を活用していく
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地利用は、農地中間管理事業を活用し、中心経営体へ集積、集約を図るほか、他地域を含めた、認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する田島地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を5人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	赤見地区 (出流原町(西根、上ノ山、田中)、出流原町(上宿)、出流原町(後山、瀬戸)、出流原町(中町、下町)、出流原町(本郷)、寺久保町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。耕作放棄地が増えてきた。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・鹿、イノシシなどの獣害が増えてきた。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・ねぎやかき菜など露地野菜の生産拡大を推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数12】 賛成: 83.3%、反対: 0%、どちらでもない: 16.7%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	117 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	117 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。調整池を増やす。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
地元調整は進んでいるので、県との調整の上、事業を積極的に進める
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。ねぎやかき菜など露地野菜の生産拡大を推進。 新たな担い手を2人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	赤見地区 (上石塚(西ノ原)、上石塚(久保台)、上石塚(井戸ノ内)、上石塚(原郷)、下石塚(宮内)、下石塚(荒居)、下石塚(細打)、下石塚(中妻))
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・病害虫や鳥獣被害が増えてきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・ねぎやかき菜など露地野菜の生産拡大を推進。
- ・水の入らない農地の利活用。
- ・耕作放棄地対策のためのオリーブ栽培の推進
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数12】 賛成:66.7%、反対:0%、どちらでもない:33.3%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	110 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	110 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。ねぎやかき菜など露地野菜の生産拡大を推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	赤見地区 (赤見町市場(下山崎)、赤見町市場(山崎、下宿)、赤見町市場(市ノ沢)、赤見町市場(西宿)、赤見町市場(上町、瓜棚)、赤見町町屋(向崎下)、赤見町町屋(中北)、赤見町町屋(上南)、赤見町駒場第2 Mitsuya 田遠藤越所、赤見町駒場(第1桑原第4甲2)、赤見町大門(大境)、赤見町大門(原横小路)、赤見町大門(上宿、中宿)、赤見町大門(辻)、赤見町大門(蓮沼))	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)	

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・道路沿いは、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・病虫害や鳥獣被害が増えてきている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・露地野菜の生産拡大を推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成: 50.0%、反対: 11.1%、どちらでもない: 38.9%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	258 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	258 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。露地野菜の生産拡大を推進。 新たな担い手を3人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (下彦間西下、下彦間東下、下彦間東上、下彦間西上)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第4回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・青パパイヤ栽培の推進。
- ・新たな特産品の検討。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成：12.5%、反対：0%、どちらでもない：87.5%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	126 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	103 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。 新たな担い手を2人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (閑馬丁、閑馬丙、閑馬乙、閑馬甲)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、農業機械の活用がしづらい。**農道や水路の整備が必要。**
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数6】 賛成：33.3%、反対：0%、どちらでもない：66.7%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	124 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	124 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。 新たな担い手を3人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (戸室、岩崎)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。・条件が悪い土地を農地としていることが問題。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林に隣接しており、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害も増えてきた。山際は農業が成り立たない。
- ・水路水源が悪い所もある。その管理ができない（まとまりがない）。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばやしょうがの作付け推進。
- ・鳥獣被害に強い、青パパイヤの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数20】 賛成：70.0%、反対：5.0%、どちらでもない：25.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	244 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	244 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばやしょうがの作付け推進。鳥獣被害に強い、青パパイヤの作付け推進。 新たな担い手を3人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (戸奈良町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。後継者もない。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・水路が細く一時の集中豪雨であっても畑の水を飲み込めない場合があり、溢れた水が道や民家にも流れてくる。
- ・山林に隣接しており、近年、鳥獣被害が増えてきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成：25.0%、反対：0%、どちらでもない：75.0%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	97 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	97 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
農道を含めた農業施設の改善を進める
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (御神楽北部、御神楽南部、長谷場北部、長谷場南部、白岩北部、白岩南部、作原町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。堀に砂利が堆積し、水路に水が入らない場所がある。
- ・山林が多く、鳥獣被害が多い。特にサルの対策に苦慮している。ヤマビル被害もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。(連作障害のリスクはある)
- ・鳥獣被害に強い、青パパイヤの作付け推進。
- ・地域として農地の維持管理。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数13】 賛成:69.2%、反対:7.7%、どちらでもない:23.1%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	76 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	76 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。(基盤整備をしたうえで)
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
この地域では自己負担が発生すると基盤整備の取組が進まないため、自己負担がかからないメニューを探す
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。鳥獣被害に強い、青パパイヤの作付け推進。多面組織の活用。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (山形上、山形下)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)	

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。後継者もない。草刈りの人手が足りていない。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。
- ・青パパイヤの栽培を進めているが、販路の確立が急務。ふるさと納税の返礼品を視野に入れる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・獣害に強い青パパイヤの栽培推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成：100%、反対：0%、どちらでもない：0%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	60 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	60 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (南小見、下小見、上小見、吉水上)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。・市街化区域内では、休作が増えている。耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・南側は圃場整備済だが、高低差があり、畦畔を取り除いての大区画は困難
- ・北側は小区画だが、高低差がなく畦畔除去による大区画化が可能

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・南部は水稻・麦、北部はネギ・野菜
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数11】 賛成: 27.3%、反対: 9.1%、どちらでもない: 63.6%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	187 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	187 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を1人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

<p>【選択した上記の取組方針】</p> <p>多面的組織により実施</p>
--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (栃本下町、多田本町、山越)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第3回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。新規就農者で土地利用型がない。**草刈りの人手が足りていない。**
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・面積が増えると機械を大型化せざるを得ないが、設備投資しても赤字である。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。・山林に隣接しており、近年、鳥獣被害が増えてきている。
- ・ポンプを維持するための費用負担が重荷となっている。・資材高騰（農機具も含めて）により米作の継続が困難になってきている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・露地野菜の栽培も検討
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数14】 賛成：64.3%、反対：0%、どちらでもない：35.7%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	263 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	263 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。 新たな担い手を3人加える。【R8.3.23追記】
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (梅園)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。 ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。 ・掘さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。
- ・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビル被害もある。
- ・水路の不良による水不足となる場所がある。また、排水路の整備不足により田に水が入り、草刈りの妨げになる場所がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、花きやそばやしょうがの作付け推進。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数2】 賛成: 50.0%、反対: 50.0%、どちらでもない: 0%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	28 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	28 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、花きやそばやしょうがの作付け推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)
地域名 (地域内農業集落名)	田沼地区 (飛駒町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)

注1: 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2: 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。地区の人口減少も大きい。後継者不足による耕作放棄地の増加が懸念される。
- ・耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。農地は、小区画が多く道路幅も狭く、高低差もあるため、農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。排水路が機能不全。
- ・山林が多く、鳥獣被害が多い。ヤマビルの被害もある。
- ・飛駒地区にあった農作物の指導が必要。
- ・集落営農組織に補助金等の支援が必要。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・集落営農組織の体質強化。
- ・地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
- ・耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
- ・新たな特産品を検討。
- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参加に関するアンケート結果  
(【回答数7】 賛成:57.1%、反対:0%、どちらでもない:42.9%)

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	188 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	188 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
集落営農組織の体質強化。地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
集落営農組織の体質強化。地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。耕作放棄地を防ぐため、そばの作付け推進。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

佐野市長 金子 裕

市町村名 (市町村コード)	佐野市 (09204)	
地域名 (地域内農業集落名)	堀米地区 (安良町七区、横手内堀米、朱雀町、菊川下、中田、菊川上)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月1日 (第2回)	

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手が少なく高齢化が進んでいる。
- ・市街化区域内では、休作が増えている。耕作放棄地も増え、ゴミの不法投棄が多い。
- ・農地は、小区画が多く道路幅も狭く、大型農業機械の活用がしづらい。
- ・堀さらいはじめ、水路の維持管理が困難になってきている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。

大豆やねぎ、かき菜など露地野菜の生産拡大を推進。

- ・別の地域からの新たな担い手の大規模参入に関するアンケート結果  
(【回答数4】 賛成：0%、反対：0%、どちらでもない：100%)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	56 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	56 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理を活用した農地の中心経営体への集積、集約化を進める
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区の担い手の他、隣接する地区の担い手の入り作による地域農業の維持。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】